

計画の目標等について

1. 計画改定の方向性

- 社会情勢を的確に捉え、気候変動やプラスチックごみ問題など本市に求められる新たな環境課題への対応を図る。
- 半田の地域資源や市民・事業者の力を活かし、環境に関する問題の解決のみならず、経済・社会・環境の3つの側面のバランスが取れた社会を目指す世界共通の目標「SDGs（持続可能な開発目標）」の達成をめざす。
 - ※総計での位置づけ：基本計画の各基本施策とSDGsの目標を関連付け、施策を展開。
 - ※本計画での位置づけ：
- バイオマス産業都市構想や2050ゼロカーボンシティの表明など、本市の前向きでチャレンジ的な取組をもとにさらなる展開につなげ、地域の環境向上をめざす。
- 市民・事業者等も計画推進主体であることを踏まえ、構成や表現などわかりやすい計画づくりに努める。

2. 計画の目標

(1) 計画の基本理念

- ・基本理念は、「半田市環境保全条例」に基づいて設定される基本となるもので、これまでもこれからも、みんなが普遍的に同じ思いで進めるためのものとする。
- ・そのため、現在の基本理念を踏襲しつつ、社会動向、総合計画、現計画の総括等をもとに、普遍的な視点で本市に必要と思われるキーワードを追加して、新たな基本理念とする。

【キーワード】 持続可能な / パートナースィップ / 経済・社会・環境の3側面 / チャレンジ など

(考え方)

- ・暮らしや産業活動に伴って発生する環境問題は、地域や地球の将来にとって重要な課題。なかでも地球規模の温暖化は世界共通の問題であり、各主体が一体となって温室効果ガスの排出抑制に取り組むことが必要。また、生活に最も身近なごみは、3Rによる減量対策を一層推進していくことが必要。
- ・本市の豊かな自然と快適な市民生活の維持、良好な環境の継承は、次世代に対する私たちの責務。
- ・市民、事業者、行政それぞれが、環境について考え、行動するとともに、3者が協働し、環境に配慮した持続可能なまちの実現にむけてチャレンジし続けることが必要。
- ・環境に関する取組みは、多岐にわたり様々な分野と密接な関わりがあり、横断的かつ広域的な考えでの事業展開を図り、知多半島におけるリーダーシップを発揮することが必要。

(基本理念)

1. 自ら進んで環境への負荷を低減するとともに、良好な環境を将来に引き継ぐまちづくりを推進します。
2. 自然、景観、歴史的・文化的環境資源を保全・創造し、市民が誇れる半田らしいまちづくりを推進します。
3. 市民・事業者・行政等のパートナーシップにより、環境に配慮した持続可能なまちの実現にチャレンジし続けます。
4. 知多半島の中核都市として、広域的な環境保全に寄与する取組みを展開します。

参考) 次期総合計画(策定中)の将来像と、環境の位置づけの原案

将来像：人がまちを育み まちが人を育む チャレンジあふれる都市・はんだ(仮)

第2章 地球に配慮しながら成長する 都市の活力を育むまち(仮)

○環境

かけがえのない地球を守り、本市の豊かな自然と快適な暮らしを次の世代へ引き継ぐために、生物や自然に対する理解を深め、環境と共生する持続可能なまちづくりを進めます。また、市民や事業者との連携のもと、温室効果ガス“ゼロ”の「脱炭素社会」や、ごみの減量化と資源化による「循環型社会」の形成に継続的に努めることで環境負荷の低減を図るとともに、地域における身近な自然環境を大切にする活動を推進します。さらに、快適で魅力ある生活環境を保全するために、市民の環境美化や環境衛生への意識を高めつつ、市民ニーズに対応した施設整備を実施することにより、愛着を持って住み続けられるまちづくりを進めます。